

## 東京都低NO<sub>x</sub>・低CO<sub>2</sub>小規模燃焼機器認定委員会（令和元年度第2回）議事録

1 日時 令和元年9月30日 午後1時50分から午後3時まで

2 場所 東京都庁第二本庁舎20階 20C会議室

3 出席者

（委員）森吉委員長、上道委員、小野田委員、松村委員

（東京都）高橋大気保全課長、小熊課長代理、石塚課長代理、増田課長代理、前川

4 議題

（1）低NO<sub>x</sub>・低CO<sub>2</sub>小規模燃焼機器の認定申請の状況について

（2）低NO<sub>x</sub>・低CO<sub>2</sub>小規模燃焼機器の認定審査について

（3）その他

5 議事

○小熊課長代理 定刻より早いですが、出席をご予定されている先生方がお揃いになりましたので、令和元年度第2回の東京都低NO<sub>x</sub>・低CO<sub>2</sub>小規模燃焼機器認定委員会を始めさせていただきますと思います。

会議進行について、委員長に引き継ぐまでの間、本会議の進行をさせていただきます、私、大気保全課の小熊でございます。よろしくお願いいたします。

この会議は、低NO<sub>x</sub>・低CO<sub>2</sub>小規模燃焼機器認定委員会の組織及び運営に関する要領第7の規定に基づきまして、公開となります。ただし、議題2の低NO<sub>x</sub>・低CO<sub>2</sub>小規模燃焼機器の認定審査については、東京都情報公開条例第7条第3号に係る案件となりますので、非公開とさせていただきます。

また、同要領第8の規定に基づき、議事録を作成し、東京都情報公開条例第7条各号に掲げる非開示部分に該当する部分を除き、原則として公開いたしますので、お含みおきください。

それで、本来でありましたらば、ここで大気保全課長の高橋より一言ご挨拶をさせていた

だくところではございますが、本日は別件が入っております、終わり次第、こちらに参るということでございますので、挨拶は割愛させていただきたいと思っております。

続きまして、本日の出席状況なのですが、草鹿委員より、本日は所用により欠席というご連絡をいただいております。

では、続きまして、お配りした資料の確認をさせていただきたいと思っております。

まず、会議次第というのを表紙にしておりまして、とじている資料でございますが、まず、1枚目が会議次第、2枚目に委員の名簿を載せさせていただいております。

続きまして、資料1ということで、申請の状況を載せさせていただいております。これが3枚ございまして、その後、資料2といたしまして、前回、令和元年度第1回の委員会の議事録を載せさせていただいております。

議事録の後に参考資料として、参考資料1で、まず、認定の要綱、参考資料2で認定の基準を載せさせていただいております。

それと、また別に緑のファイルは申請書の写しになっております。

以上、不足等ございませんでしょうか。

それでは、議事に入らせていただきます。

これ以降の進行は森吉委員長にお願いしたいと思っております。委員長、お願いいたします。

○森吉委員長 では、早速、議事の1番目、低NO<sub>x</sub>・低CO<sub>2</sub>小規模燃焼機器の認定申請の状況について、始めたいと思っております。

状況について、事務局からご説明をお願いします。

○小熊課長代理 それでは、資料1、東京都低NO<sub>x</sub>・低CO<sub>2</sub>小規模燃焼機器認定申請の状況というところをご覧いただきたいと思っております。

今回ですが、申請につきましては、4社から4機種出ております。

また、前回保留になりましたのが1基ございまして、それについてもあわせて行わせていただきたいと思います。

内容でございますが、まず、小型ボイラー類で蒸気ボイラー、ガス炊きのものが、グレードAでの申請が1機種、温水発生機、これもガスですが、これもグレードAが1機種、業務用給湯器、燃料がガスでグレードがAAのもの1機種、冷温水発生機、同じく燃料がガスでグレードがAのもの1機種ということになっております。

内燃機関につきましては、前回保留になりましたものですね、ガスヒートポンプについて1機種、グレードAでございます。

1枚めくっていただきまして、小型燃焼機器のNO<sub>x</sub>削減方式ですが、蒸気ボイラーは火炎分割、温水発生機は完全予混合、業務用給湯器は濃淡燃焼、冷温水発生機は自己再循環となっております。ガスヒートポンプについては希薄燃焼となっておりますが、それぞれ複数の低減方式を組み合わせしております。後ほど説明をさせていただきます。

1枚めくっていただきまして、次はCO<sub>2</sub>低減（効率向上）の方式ということで、こちらが、蒸気ボイラーはエコマイザー、温水発生機は伝熱量の増加、業務用給湯器は電熱効率の向上、冷温水発生機は冷凍サイクルの最適化、ガスヒートポンプについてはコンプレッサー一台数制御という形となっております。

資料1につきましては以上でございます。

○森吉委員長 ありがとうございます。

では、次の議事、低NO<sub>x</sub>・低CO<sub>2</sub>小規模燃焼機器の認定審査について入りたいと思いますが、これ以降、非公開ということでさせていただきます。

（この間、議題2について討議）

○森吉委員長 続いて議題の3 その他について ですが、以後公開で行います。それでは、事務局からご説明をお願いします。

○小熊課長代理 では、議題3 その他について というのは、連絡事項になりますので、それでは、お願いします。

○前川 前回の委員会の議事録につきましては、メールで確認をお願いしておりまして、修正点等をいただいている先生方もいらっしゃいますが、何か追加や修正事項等ありましたら、本日から1週間程度を目安にご連絡いただければと思います。特にご連絡ないようでしたら、ホームページに掲載をさせていただきますので、よろしく願いいたします。次回、第3回の認定委員会につきましては、ご案内させていただいておりますが、12月中旬ということでよろしく願いいたします。

○森吉委員長 では、以上でしょうか。

○小熊課長代理 どうもありがとうございました。

それでは、これをもちまして、第2回の認定委員会を終了させていただきます。

本日は長時間にわたりましてご議論いただきまして、どうもありがとうございました。